

## 令和8年度当初予算の内容② 《スクラップ編》



「今」と「将来」のための**ビルド**事業の説明に  
続いて「**財政の健全性**」の確保について説明  
するで！

確か**ビルド**（新規事業の実施、既存事業の充実）と  
**スクラップ**（既存事業の見直し）はセットだっ  
たよね！

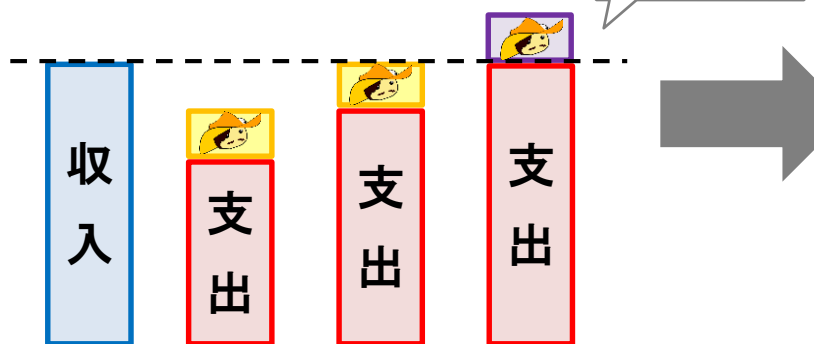


そのとおり！**ビルド**（新規事業の実施、既存事業の充実）で新たな財源が必要になる分、**スクラップ**（既存事業の見直し）で財源を確保しないと支出だけが増えてしまって「**財政の健全性**」を確保できなくなってしまうんだよ。

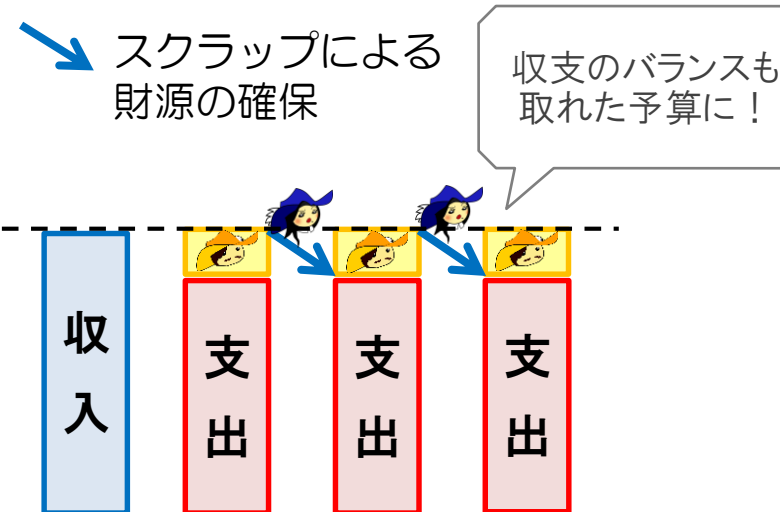


◎ビルドだけだと…

- ビルドによる新たな経費
- 財源が不足する経費



◎ビルドとスクラップがセットなら…



左の図のように、**ビルド**だけやと収入以上の支出になって財源が不足するけど、右の図のように、一緒に**スクラップ**することで市民サービスの充実を図りながら、收支のバランスを取ることができるねん。



ってことは、令和8年度予算の編成時にも**スクラップ**に取り組んだのね！

既存事業の見直しは、時代に適した内容になるようにサービスを活性化させることにもつながるから、とてもいいことなんだよ。



ほな、令和8年度の予算編成で取り組んだ内容を紹介するで！





まずはじめに、スクラップ言うても、  
こんなふういろんな方法があるねん。

## スクラップによる財源の確保

サービスの廃止・縮小

実施方法の変更

経費の抑制

歳入の確保

単純にサービスを止めてしまっ  
ただけじゃないのよね。





令和8年度予算編成でも、  
多くのスクラップに取り組んだで。

SCRAP



SCRAP

例えば、「サービスの廃止・縮小」として、学  
校の情報処理教室のICT機器を見直したり  
(4,288万円減) してん。  
合計で約9,365万円の見直しになるで。

実情に沿って廃止や縮小すれば、  
コストが削減できるもんね♪





次は「**実施方法の変更**」。  
普段からサービスの効率化を意識したり、  
必要性を検証したりしながら業務に取り組ん  
だ結果、経費を見直せたものが多いねん。

令和8年度は、小中学校体育館のLED化等  
による電気料金の見直し（1,529万円減）な  
どがあるで



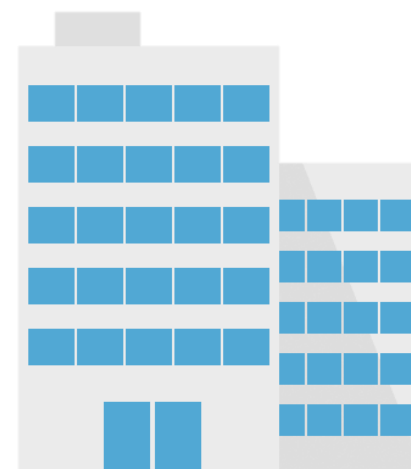
「最少の経費で最大の効果」を発揮する  
ために、常日頃から効率的な実施方法を  
検討しているんだ。約7,624万円も見直し  
しているよ。





そして「**経費の抑制**」。  
これも実施方法の変更と同様に、効率化を  
図ったり、実情に沿って見直すことやで。

企業立地促進奨励金をこれまでの  
実績を踏まえて精査することで、  
約1,093万円も削減してん。



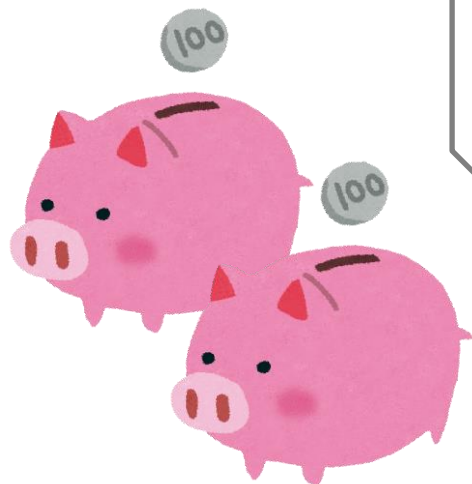
必要に応じて見直せば、新たな  
サービスの財源になるのね！





最後は「**歳入の確保**」。  
サービスを見直して支出を抑制するだけ  
やなく、利用の適正化や収入を増やして  
財源を確保する方法やで。

令和8年度は、ごみ処理で排出されるスラグ  
の管理方法を見直して、約669万円の歳入を確  
保できてんで。



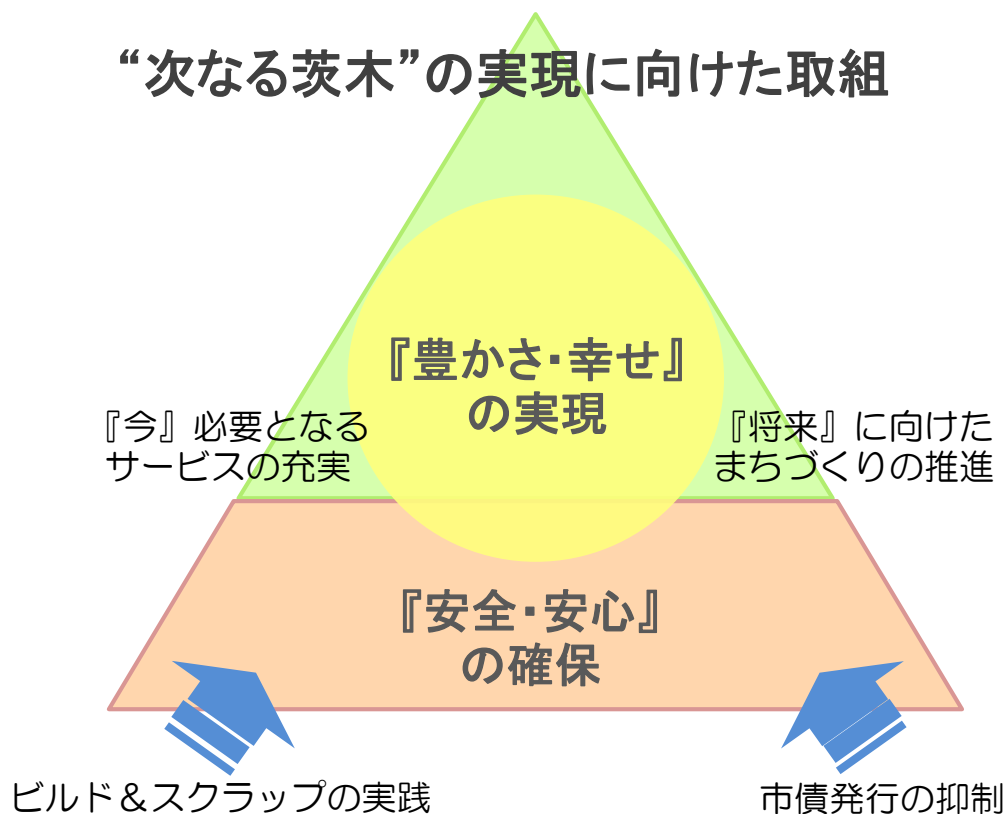
工夫を凝らした歳入の確保等にも  
取り組んでいるんだね！





「**財政の健全性**」の確保には、**ビルド&スクラップ**の実践のほかにも、**ハード事業を適切に選択して市債（借金）を抑制**をする方法もあるんだよ。市債の償還費用が、将来世代に重くのしかからないようにしないとね。

### “次なる茨木”の実現に向けた取組



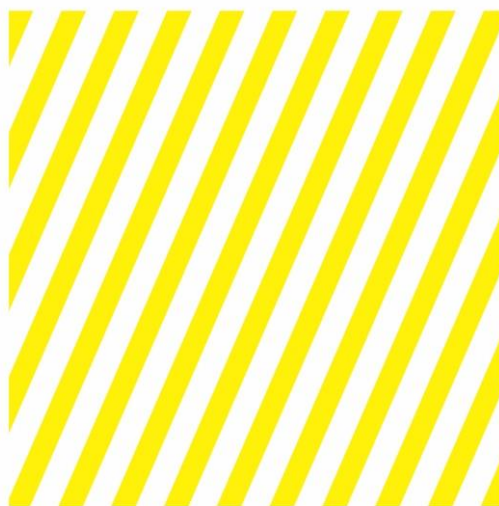
健全化の取組みによって、  
将来にわたる健全財政を  
確保してるのね！



令和8年度も「**財政の健全性**」を確保して「**次なる茨木**」に向かって進んでいこう！



次なる  
茨木へ。



茨木には、次がある。

